

ボルグワーナー、ステランティスの 新型「ハリケーン4ターボ」エンジン向けに 可変タービンジオメトリー(VTG)ターボチャージャーを供給

- 高性能可変タービンジオメトリー(VTG)技術と高機能ウェイストゲートを組み合わせ、排出ガス浄化効率やエンジン性能を向上させる革新的なターボチャージャー
- 新型4気筒ガソリンエンジン「ハリケーン4ターボ」に採用、新型ジープ®グランチェロキー2026年モデルに搭載(発売後に追加予定)
- ジープチェロキー向けプラットフォームにはeVCT技術を供給予定

革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供するグローバル製品リーダーのボルグワーナー(NYSE:BWA/本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジョセフ・ファドール/ Joseph Fadool)は、ステランティス(Stellantis)に対し、同社の新型「ハリケーン4ターボ(Hurricane 4 Turbo)」4気筒ガソリンエンジン向けに、50mm可変タービンジオメトリー(VTG)ターボチャージャーを供給する契約を締結したと発表しました。

「ハリケーン4ターボ」は、2026年モデルの新型ジープ®グランドチェロキー(Jeep® Grand Cherokee)に初搭載される予定です(発売後に追加予定)。また、ボルグワーナーは、ステランティスのジープ・チェロキーに搭載されるEP6型4気筒エンジン向けに、電動可変バルブタイミング(eVCT)技術も供給します。

ボルグワーナーのVTGターボチャージャー技術は、高性能ターボと高機能ウェイストゲートを融合させることで、排出ガス浄化効率およびエンジン性能の両面を向上させます。VTGとウェイストゲート技術を融合させた唯一のターボチャージャーであるため、ウェイストゲートはコールドスタート時のより迅速な触媒昇温を可能にし、VTGはより正確なブースト制御を実現します。さらに、VTG技術は高ミラーサイク

ルを可能にし、広いエンジン回転域にわたって性能を最適化します。低回転域ではブースト圧を下げ、燃費を向上させつつ圧縮を抑制し、高回転域ではブースト圧を高めて出力を向上させます。

ボルグワーナーのeVCT(電動可変カムタイミング)技術がジープチェロキーのEP6エンジンに採用されるのは、ステランティス製エンジンとして初めてのことです。この技術により、燃費と性能の大幅な向上に加え、排出ガスの低減も期待されます。従来のシステムとは異なり、eVCT技術はより広範囲の位相で動作し、油圧に依存せず独立して動作するため、高度な燃焼制御が可能となり、効率および排出浄化能力がさらに向上します。

ボルグワーナーの副社長兼ターボ・サーマルテクノロジーズの事業本部長であるフォルカー・ウェング博士は、「これらのエキサイティングなプロジェクトの立ち上げに際し、ステランティスと再び協業できることを大変嬉しく思います。当社はこれまでもステランティスに対し、多数の車種向けにターボチャージャーを供給してきましたが、本プロジェクトは次世代ターボへの移行を示す重要な節目となります」と述べています。



ボルグワーナーはステランティスと契約締結し、同社の新型「ハリケーン 4 ターボ」4 気筒ガソリンエンジン向けに 50mm の可変タービンジオメトリー (VTG) ターボチャージャーを供給します。
「ハリケーン 4 ターボ」は、2026 年モデルの新型ジープ®グランドチェロキーに初搭載される予定です。
(発売後に追加予定)

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130 年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースには、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)で想定された、将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」、およびこれらの語句の変化形や類似のものは、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、本リリースに含まれる、または参照する形で盛り込まれる、歴史的事実に関する記述を除く、当社の財務状況、事業戦略、および当該戦略を実施するための方策(事業の変更、競争力、目標、事業およびオペレーションの拡大・成長、計画、将来の成功への言及、その他の事項を含む)に関する、当社が将来発生すると期待または見込むすべての記述は、将来予測に関する記述です。最近提出されたフォーム 10-K(「Form 10-K」)年次報告書の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」に記載されているような会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、当社の経験、当社の歴史的動向に関する解釈、現在の状況、予想される将来の展開に関する認識、および現況において適切と考えられるその他の要因に照らして当社が行った仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定または示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。

本リリースの発行日現在における事柄を述べたものであるこれらの将来予測に関する記述を過度に信頼すべきではありません。将来予測に関する記述はリスクや不確実性を伴うものであり、その多くは予見困難であり、一般的に不可抗力によるものであるため、実際の結果は将来予測に関する記述で表明、予測、または示唆されているものとは大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性の代表的な例として、次のものがあげられます。当社または当社の顧客に影響を及ぼす供給の混乱、商品の入手可能性および価格設定、ならびにこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと；受託製造会社(OEM)の顧客を含む既存および新規の競合他社による競争上の課題；急速に変化する技術、特に電気自動車に関連する技術的課題、およびそれに対応する当社の技術革新能力；電気自動車に対する需要および電気自動車の売上成長を予測することの難しさ；戦争やその他の地政学的紛争によって引き起こされる世界経済の潜在的な混乱；適切な条件で買収対象を特定し、買収を完了する能力；買収によって期待される利益を適時に実現できない可能性；2023年に旧燃料系システム部門とアフターマーケット部門を非課税分社化して別個の株式公開企業としたことによる意図した利益が得られない可能性；取得事業を迅速かつ効率的に一体化できない可能性；取得事業に関する未確認または推測不能な債務の可能性；自動車およびトラック生産への依存性(いずれも景気に大きく左右され、混乱の影響を受けやすい)；大手OEM顧客への依存性；一部のOEM顧客における将来的なストライキの影響および当該OEM顧客の対処法；金利および外国為替レートの変動；情報システムへの依存性；世界的な経済環境の不確実性；様々な申し立てに関する訴訟を含む既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府による調査の行方；当社が事業を行っている国における税金や関税を含む法律や規制の将来的な変更；将来起こりうる買収または譲渡による影響；当社が証券取引委員会に提出する報告書(直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因」)に記載されたその他リスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる事象、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新・改訂内容を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中込、浜辺

TEL: 090-7739-3601(中込)、080-2032-2924(浜辺)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp